

『行政法ガール』は、司法試験公法系第2問（行政法）を素材にしながら、行政法の事例問題の解き方を学べる小説です。

本書は行政法を勉強する法学部生、ロースクール生、司法試験受験生を主な想定読者としていますが、行政法に関する具体的な紛争解決にあたる法律家や公務員のトレーニング素材にもなるものであり、広く行政法に関心のある方にお楽しみいただける内容となっております。

本書の内容は、ライトノベル風のストーリーを交えながら平成18年から平成25年までの司法試験の過去問を検討するものです（平成23年以前は、「新司法試験」と呼ばれていましたが、平成24年以後は「司法試験」と呼称が改められました。本書ではすべて「司法試験」と呼ぶこととしています）。特に第0話は、平成25年の問題を素材として、行政法事例問題の解き方を丁寧に説明する内容にしています。また、各話の最後には、行政法事例問題を解く際に役立つ「行政法的なものの考え方」（仕組み解釈等）を解説したラミ先生のワンポイントアドバイスと各問題の解答例をつけています。なお、司法試験の事例問題には様々な解答の筋道があり、本書の解答例はそのうちの1つの例に過ぎませんので、この点は十分ご留意下さい。また、各話末尾の注及び本書最後の判例一覧表は、あくまで本書を読み解く上で必要最小限度のものです。行政法の勉強をさらに深めたい方は、各文献・判例の原文に直接あたって勉強をするのも良いでしょう。

本書の類書として、拙著『憲法ガール』（法律文化社、2013年）があります。『憲

法ガール』は憲法の事例問題を小説形式で解説したものですので、憲法にご興味がある方は、こちらも是非お手に取ってみてください。本書のストーリーは単独で楽しめるものとなっていますが、お話としては『憲法ガール』の「続き」となっています。

本書を用いて何度も事例演習を行えば、次第に行政法の紛争事例の解決方法を身につけることができるでしょう。本書の登場人物の「声」が、あなたの行政法学習を支援し、支えてくれる「導き手」になることを筆者は切に願います。